

運輸サービスにかかる内外価格差調査

1 調査目的

本調査は、是正・縮小が求められている内外価格差について、旅客輸送分野での実態を調査し、規制緩和の推進計画改定に反映させることを目的として実施した。

2 調査対象

- (1)対象国(都市):日本(東京),米国(ニューヨーク),英国(ロンドン),仏国(パリ)及び独国(フランクフルト)
 (2)対象機関:航空及び幹線鉄道による都市間輸送,並びに,地下鉄,バス及びタクシーによる都市内輸送
 (3)調査時点:平成9年10月

3 調査方法

「2 調査対象」に区分する運賃料金の現地価格を調査し、国際通貨基金(IMF)の統計に基づく為替レート及び経済協力開発機構(OECD)の推計値を用いた購買力平価レートにより円換算し比較した。

4 内外価格差の実態

為替レート及び購買力平価により換算したわが国を100とする運賃料金の指数は、表のとおりである。

5 調査結果

(1)運賃料金と運輸サービスの相互関係

航空,幹線鉄道及びタクシーについて,為替レート換算による運賃水準とサービス水準との相互関係について,わが国と他の4カ国を比較し,以下の結論を得た。航空については,事前購入割引運賃と利用条件を比較すると,わが国は運賃は中位に位置するが,利用しやすい(米,英,独は利用しにくい)。わが国幹線鉄道の運賃料金は,中位で

為替レート及び購買力平価による運賃料金比較表

モード/距離帯/条件	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス
航空/400~800キロ/普通	100 [100]	422 [595]	163 [209]	232 [282]	117 [149]
同/同/事前購入(14日前)	81 [81]	111 [*] [157]	85 [109]	61 [74]	38 [49]
鉄道/300~400キロ/幹線鉄道	100 [100]	149 ^{**} [210]	120 ^{**} [154]	74 [90]	59 [75]
地下鉄/8キロ	100 [100]	96 [135]	156 [200]	123 [150]	86 [110]
バス/10キロ	100 [100]	91 [128]	89 [114]	117 [143]	82 [104]
タクシー/2キロ/昼間	100 [100]	80 [113]	92 [118]	94 [115]	68 [87]

注)指数,上段は為替レート換算,下段[]内は購買力平価換算

* 21日前割引。

** 当該国には,新幹線型の特急列車がないため,在来型特急列車。

あるが,サービス水準を運行本数の多さで捉えると,非常に利用しやすい。東京のタクシー運賃は,短距離を除き高いが,サービス水準をアクセシビリティ(人口あたり台数)として捉えて比較すると,パリと同程度で高水準である。

(2)総括

運輸サービスにかかる内外価格差について平成3年度より調査を実施しているが,その推移をみると,価格差は縮小している。

本年度行った運賃料金と運輸サービスとの相対分析によれば,わが国の運賃は,1)国内航空普通運賃は決して高くなく,割引切符は利用しやすい,2)鉄道運賃は平均的な水準であるが,極めて利用しやすいことを考慮すると利用価値は高い,3)タクシー運賃は,短距離は低額であるものの,中長距離運賃は高いことが判明した。

(要約:運輸政策研究所 企画室副参事 山根 章彦)

この号の目次へ <http://www.jterc.or.jp/kenkyusyo/product/tpsr/bn/no02.html>